



国守る気があるの？ 軍需産業の儲けの為？

領土問題では、先ず、国際的に日本の主張を承認してもらうことが大切。その為には、領有の経緯、過去に中国自身が尖閣を日本領とした文書を出し、中国の地図の国境線は尖閣の西側、つまり中国よ

もし隣の人が土地を隣の人があなたの土地を自分の土地だと言

りにつられていたことなど、こと細かに反論することが大切だ。何故、しない？

安倍氏の頭にあるのは日本の領土ではない。中国に進出している大企業の利益。まともにも中国に反論して、不利な扱いをされるよりはと、ダンマリ。

尖閣周辺の中国艦船を理由に九条改定、軍備拡張すれば、軍需産業の利益は計り知れない。中国に対し反論し、中国の主張を打ち破ることはしない。でも、米国の求めにに応じて、中東などに派兵すると・・・武器弾薬ミサイルを大量消費。軍需産業は大儲け。

そんなコトを安倍氏は考えているのか？ 皆さんはどう思われますか？

鞆の浦

広島県 福山市



丘の上を見ると、遠く雲の彼方に四国の山々が見え、眼下に鞆の浦が一望できる。湾のまっただ中に橋を架ける計画が出された。絵で大小の舟が停泊している辺りも埋立てる。「この歴史的な景観は全国民のもの」と、埋立て架橋計画撤回を求め反対運動が起こった。結局、二〇一二年六月、県知事が橋を架ける計画を撤回。景観が保たれることになった。

七三〇年、大伴旅人は九州から京への帰途九州で亡くした妻を偲んで

「我妹子が見し鞆の浦の天木香樹は常世にあれど見し人ぞなき」(万葉集)と歌った。

「いとしい妻が往きに見た鞆の浦のむろの木は、変わらぬにあるが、これを見た人はもうこの世にいない」と。

先週五月十二日号は休刊しました